特集

さわらびグループ職員研究発表会のあゆみ

さわらびグループ職員研究発表会は、平成二十五年十二月に開かれた第一回から二〇一九年十月まで、十一回におよびます。開催の経緯や歴史、活動内容など、これまでを振り返り、ご紹介します。

▲発表会の後には集合写真を撮影（第11回）

はじめに

平成二十五年十二月に初めて開催されたさわらびグループ職員研究発表会は、医療法人・社会福祉法人さわらび会で働く職員が日々の業務でご利用者様に対してより良いサービスを行うために必要な事柄を拾い上げ、改善策について発表しています。新型コロナウイルス感染症の影響で令和二年度からは延期となりましたがそれ以前は毎年開催され多くの職員が研究に取り組んでいました。

審査

審査員は当初、理事長、専務理事、CEOの三名。第七回以降は外部審査員二名が加わり、会場参加者の投票結果をもとに、審査員が決めます。

最優秀賞は、医療法人、社会福法人各一点。副賞として賞金三万円に加え、インド福祉村での研修、ボランティア活動に派遣されます。優秀賞は両法人各一点、副賞賞金二万円。他にも奨励賞が贈られます。いずれの入賞者にも次年度の介護甲子園などで研究発表の機会が与えられます。

インド福祉村ボランティア活動報告

職員研究発表会最優秀賞受賞者で他国の医療福祉について見聞を深めたいと希望する者はインド福祉村でのボランティア活動に派遣されます。

▲アーナンダ病院前での集合写真

年表

二〇一三年六月（平成二十五年）

●後のさわらびグループ職員研究発表会に繋がる計画案が施設長会議（現経営企画会議）にて提案される。

二〇一三年十二月

●第一回職員研究発表会開催。五つの取り組みについて発表が行われた。最初期のことでもあり各賞や選考方法については明文化されておらず、全発表が最優秀賞となる。

二〇一四年十二月（平成二十六年）

●第二回職員研究発表会開催。各賞や選考方法等について開催要綱に提示される。

二〇一五年八月（平成二十七年）

●第三回職員研究発表会開催。最優秀賞については医療法人・社会福祉法人各一点となり選考については投票方法が一部変更となる。次年度より四月と十月の年二回開催となることが決定される。

二〇一六年四月（平成二十八年）

●第四回職員研究発表会開催。

【ボランティア活動メンバー】
白井秀明（さわらび地域包括支援センター／第一回）
鈴木あきよ（第二さわらび荘／第三回）
船藤悠太（福祉村病院／第六回）
浦野いず美（あかね荘／第七回）

【場所】
ウッタール・プラディーシュ州クシナガラ／インド福祉村病院（現地名：アーナンダ病院）

【ボランティア活動日程】
二〇一八年五月十九日（土）
◉フライトの関係で前泊
同二十日（日）
◉日本出発～インド（デリー）到着
同二十一日（月）
◉デリー出発～インド福祉村病院到着
◉到着後グプタ医師より院内の説明を受ける
同二十二日（火）
◉インド福祉村病院周辺村落訪問
同二十三日（水）
◉グプタ医師の診療風景見学
同二十四日（木）
◉来院する子どもに折り紙や新聞紙で作った兜をプレゼント
同二十五日（金）
◉インド福祉村病院出発
同二十六日（土）
◉日本到着

研究の実際

◉第一回最優秀賞
さわらび地域包括支援センター
主任介護支援専門員　白井秀明

テーマ
「独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議
～県営金田住宅での取り組み～」

【テーマ選定の理由】
六十五歳以上の高齢者の独居世帯の増加に伴い、「孤独死」という言葉がクローズアップされるようになり、その背景には以下のことを実感しました。
❶高齢化の進展と核家族の増加（独居予備軍の増加）
❷近隣との関係の希薄化
❸長期不況などによる経済的な問題
さわらび地域包括支援センターの担当圏域の中に県営金田住宅があります。当時の自治会長などと話をしていく中で、自治会としても孤独死や自殺などの問題を何とかしていきたいと思っているとのことでした。

【実際の取組】
自治会、民生委員、見守りボランティア、住宅公社、行政、警察、新聞配達店など金田住宅に関わる関係者が一堂に集い、情報共有や役割分担などを通じて顔の見える関係づくりを継続的に構築していきました。

【効果】
関係者で協働・連携することで、困難ケースなどにより早い段階から関わりを持つことができるようになり、予防的な効果が高まりました。この研究のきっかけとなった自死は、これまでのところゼロとなっています。
（白井）

▲研究成果を発表する白井主任介護支援専門員（第1回）

二〇一六年十月
●第五回職員研究発表会開催。研究テーマについて「ご利用者自身の活動など」が追加される。
二〇一七年四月（平成二十九年）
●第六回職員研究発表会開催。
二〇一七年十月
●第七回職員研究発表会開催。この回より外部審査員二名依頼。以後も継続して依頼。
二〇一八年四月（平成三十年）
●第八回職員研究発表会開催。
二〇一八年十月
●第九回職員研究発表会開催。
二〇一九年四月（平成三十一年）
●第十回記念職員研究発表会を事業戦略発表会と同時開催（会場：PLAT）
●過去最優秀賞の四グループのその後の実践も踏まえた発表及びインド福祉村ボランティア活動報告。
二〇一九年十月（令和元年）
●第十一回職員研究発表会開催。
二〇二〇年四月（令和二年）
●第十二回職員研究発表会新型コロナウイルス感染症により延期。

▼平成29年4月25日 さわらびグループ 第6回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	看護師 看護師	中神利恵子 藤城鈴子	福祉村病院 1病棟2階（現1病棟3階主任）	身体拘束ゼロを目指しての取り組み	奨励賞
2	作業療法士 理学療法士	船藤悠太 川村基樹	福祉村病院 リハビリテーション部	重度パーキンソン病患者の予後を見据えたリハビリ介入～ ADL/QOLともに改善した一症例～	最優秀賞
3	認知症ケア専門士 認知症ケア専門士	小杉　訓 安達　薫	福祉村病院 看護部 医療福祉相談課	福祉村病院における認知症の方のターミナルケアの取り組みについて	優秀賞
4	介護士	村木大介	珠藻荘	誤薬ゼロへの挑戦	奨励賞
5	EPA介護福祉士候補生 EPA介護福祉士候補生 EPA介護福祉士候補生	トアン チャン イズニ	第二さわらび荘	笑顔から始まる・コミュニケーション	優秀賞
6	介護士 介護士	片山謙志郎 三浦雅大	第二さわらび荘	ADL向上に向けて～ご利用者様の楽しめる時間～	奨励賞
7	管理者	白井有喜子	白珠	白珠・運営推進会議～地域と共に、未来に向かって～	奨励賞
8	管理栄養士 栄養士	松下裕美 渡邊絵美	常盤	ソフト食導入に向けて～見た目にも美味しい食事を～	優秀賞

▼平成29年10月31日 さわらびグループ 第7回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	看護師 薬剤師	尾﨑理香 石黒那月	福祉村病院 褥瘡委員会	褥瘡発生「ゼロ」を目指して　～褥瘡委員会の取り組み～	最優秀賞
2	理学療法士	西村公彦	ジュゲム	私が認知症になっても 地域包括ケアシステムにおけるデイケアでの実例	奨励賞
3	作業療法士	村上佳範	福祉村病院	認知症リハビリプロジェクト「農作」の取り組み	優秀賞
4	介護士 介護士	山本翔太 上村みつ江	福祉村病院 ２病棟４階	誤薬・与薬ミス０件を目指して	奨励賞
5	管理栄養士 管理栄養士	坂神亨一 新井美香	さわらび荘	食事の満足度からQOL向上を目指した取り組み	優秀賞
6	介護士 介護士	三浦悦夫 淵園里美	天伯	特養における褥瘡改善に向けてのケア～元気だった頃の笑顔を取り戻したい～	奨励賞
7	生活支援員 理学療法士	山田智代 宮下賢也	しろがね	社会参加と社会資源の利用	奨励賞
8	介護支援専門員 管理栄養士	河合昭徳 伊藤志帆	カサ デ ヴェルデ	退院後の食事支援 自立摂取に向けた取り組み	奨励賞
9	看護師 介護士	田中郁江 山下真由美	若菜荘	多様化・複雑化している利用者のニーズ対応 高齢知的障害者の豊かな暮らしづくり	奨励賞
10	支援員 支援員	杉山拡生 新井海人	あかね荘	あかね荘食生活改善委員会の取組み ～ 40代ダウン症男性の誤嚥性肺炎の再発予防の取組みを通じて～	最優秀賞

▼平成30年4月16日 さわらびグループ 第8回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	看護師 看護師	大石永味 楠　美紗	福祉村病院	気管切開されている患者様の在宅に向けての取り組み	優秀賞
2	理学療法士 作業療法士	川村基樹 船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	進行性核上性麻痺の1症例 転倒原因の分析と対策	優秀賞
3	介護士 介護士	村田　淳 中神往奈	福祉村病院 2病棟2階	下剤連続投与をなくし自然排便を目指して 患者様の笑顔につながる穏やかな入院生活の提供	最優秀賞
4	理学療法士 生活支援員	鳥居浩平 安形光代	しろがね	嚥下障害のある方へのリハビリと日々の取組み	奨励賞
5	主任介護支援専員 介護支援専門員	日下部澄美子 伴　茜	さわらび居宅	資質向上への取り組み～ケアマネジメント実践力の向上～	奨励賞
6	調理員 調理員	広山恵里 北河瑠那	第二さわらび荘	安全でおいしい食事の提供に向けて～ソフト食への取り組み～	優秀賞
7	生活支援員 サービス管理責任者	市川千春 安田葉子	明日香	重度知的障がいの方への支援～脱マンツーマン対応を目指して～	奨励賞
8	介護士 介護士	日比野汐織 石井恵里	カサ ブランカ	生活を楽しく過ごしていただくために	最優秀賞
9	介護士 事務員	鈴木康平 瀧崎智弘	フェリス福祉村	若年性認知症の利用者様への取組み	優秀賞

▼平成30年10月30日 さわらびグループ 第9回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	栄養管理部	根之木俊二	福祉村病院 栄養管理部	離水しにくいお粥の探求～お粥の出来上がりの再現性を図る～	優秀賞
2	作業療法士	吉田恭子	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症プロジェクト 革細工での取り組み～作品を通して家族との交流機会が増えた症例～	奨励賞
3	EPA看護師 EPA看護師 EPA看護師	ｼﾞｪﾈﾘﾝ･ﾀﾝ･ﾗｽ ﾅｲﾗﾝ･ｼﾞｪｲ･ｱﾙﾊﾝﾄﾞﾘﾉ ﾊﾞｰﾅﾍﾞﾄﾞ･ｱｻﾞﾙｺﾝ	福祉村病院 看護部	EPA看護師の貢献と今後の課題	最優秀賞
4	管理者	中坪佐代美	グループホーム 常盤	オレンジカフェときわの取り組み～地域の皆様と共に～	奨励賞
5	介護士 介護士	中木政子 松原　孝	天伯	嚥下障害がある方の経口摂取改善への取り組み	奨励賞
6	理学療法士 介護士	廣瀬正明 中尾麻希	珠藻荘	身体活動量に影響を与える因子の検討とリハビリの役割	奨励賞
7	介護支援専門員 管理者	髙橋充代 若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	生きがいのある生活～今できる事をし、楽しんで生活する～	優秀賞
8	管理者 介護士	山本雅雄 大原崇弥	グループホーム 白珠	帰宅願望を改善する取組み～安心して白珠で生活して頂く為に～	奨励賞
9	相談支援専門員	石川正敏	あかね荘	障がいを持つ親にとっての8050（はちまるごうまる）問題	奨励賞
10	介護士 管理者	大久保信江 白井有喜子	グループホーム フジ	居心地のよい、楽しい住処となる為に～入居者様の気持ちに寄り添える介護士に～	最優秀賞

▼平成31年4月13日 さわらびグループ 第10回記念職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	主任介護 支援専門員	白井 秀明	さわらび地域包括 支援センター	独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議～県営金田住宅での取組み～	第1回 最優秀
2	看護師	鈴木あきよ	第二さわらび荘	看取り介護への取組み 第二さわらび荘での43例の事例について	第3回 最優秀
3	作業療法士	船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	重度パーキンソン病患者の予後を見据えたリハビリ介入～ ADL・QOL共に改善した一症例～	第6回 最優秀
4	生活支援員	浦野いず美	あかね荘	あかね荘食生活改善への取組み 40代ダウン症男性の誤嚥性肺炎の再発予防の取組みを通じて	第7回 最優秀

▼令和元年10月17日 さわらびグループ 第11回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	看護師 看護師	加藤理恵 竹島樹里	福祉村病院 看護部1-1階	入浴前の泡浴実施の取り組み～泡浴の効果～	優秀賞
2	看護師 看護師	吉原真三子 ジェネリン	福祉村病院 看護部1-3階	自宅退院に向けての退院支援を振り返って	優秀賞
3	作業療法士	船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症リハビリプロジェクト「野球・卓球」の取り組み	最優秀賞
4	生活支援員 生活支援員	小寺莉可 大谷孝広	あかね荘	業務改善「障がいのある職員と協力して働く」	奨励賞
5	介護士 介護士	後藤日歌里 萩原幹樹	第二さわらび荘	生活スタイル改善 その先へ	優秀賞
6	介護支援専門員	河合昭徳	カサ デ ヴェルデ・特養	小規模特養による地域との関わり	奨励賞
7	介護士 介護支援専門員	青木晴美 宮﨑真理子	さわらび荘	みんなの幸せの実現～職員の職場環境整備の視点から～	最優秀賞
8	生活支援員 サービス管理責任者	藤井友毅 安田葉子	明日香	知的障がい者を抱えての8050問題	奨励賞
9	看護師	大谷万里子	カサ ブランカ	座位姿勢の改善への取り組み	奨励賞
10	管理者 介護士	島本晴子 小林裕子	グループホーム 白珠	認知症になっても頑張ってます	優秀賞

これまでの職員研究発表会の研究内容と受賞者

▼平成25年12月24日 さわらびグループ 第1回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	主任介護支援専門員	白井秀明	さわらび地域包括支援センター	独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議～県営金田住宅での取り組み～	最優秀賞
2	看護師 看護師	大塚和美 石原恵理子	福祉村病院 看護部	皮膚乾燥がみられる患者様への保湿剤の研究とスキンケアに取り組んで	最優秀賞
3	介護士 介護士	白井内海 松原　孝	第二さわらび荘	じぶんの力でじぶんの生活を～介護力向上講習会での取り組みを通して～	最優秀賞
4	作業療法士 臨床心理士	加藤智太 金沢歩美	福祉村病院認知症リハビリプロジェクトチーム	認知症リハビリの取り組み	最優秀賞
5	相談員 サービス提供責任者 主任支援員	玉城琴子 金田精子 高橋奈奈	珠藻荘障害者支援センター 障害者居宅介護事業所しろがね あかね荘・あかね荘共同生活介護	さわらび会の連携による、重度知的障害者の安定した生活の実現にむけての取り組み	最優秀賞

▼平成26年12月4日 さわらびグループ 第2回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	理学療法士 事務員	鳥居浩平 平野貴幸	しろがね	浮腫がみられる利用者に対しての間欠的空気圧迫法の実践	奨励賞
2	作業療法士 理学療法士	市川由佳 鈴木啓太郎	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症リハビリプロジェクト「音楽」の取り組みについて	奨励賞
3	介護支援専門員 介護士	高木秀之 伊藤美佐子	グループホーム 常盤	グループホーム常盤での実践報告「小さな音楽会～仲間・家族と共に～」	奨励賞
4	看護師 看護師	鈴木智美 曽根由美子	福祉村病院 1病棟1階	気管切開離脱に向けての看護的援助の取り組みと他職種との連携	審査員特別賞
5	サービス管理責任者 サービス提供責任者	末松秀章 林　稔雄	明日香	引きこもりになった知的障がい者への支援について	奨励賞
6	看護師 看護師	竹田昌代 伊藤久美子	福祉村病院 2病棟3階	暴力・大声のある患者様の観察にひもときシートの使用を試みて	奨励賞
7	介護士 介護士	河合彩佳 大原崇弥	グループホーム 白珠	心ふれあう ぬくもりつたわる はじける笑顔の 白珠です～自慢の家族会を紹介します～	優秀賞
8	看護師	石田美穂	福祉村病院 訪問看護	在宅ケア活動における「連携」の意義と今後の課題	奨励賞
9	生活支援員	鳥居浩平	珠藻荘	高齢者施設への移行について	優秀賞
10	介護士	鎌子往奈	ジュゲム	ケア・メソッドへの取り組み～あなたらしさを取り戻して頂くために～	審査員特別賞
11	管理栄養士	黒柳啓子	第二さわらび荘	腸内環境を整える一つの試み	最優秀賞

▼平成27年8月19日 さわらびグループ 第3回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	理学療法士 生活支援員	宮下賢也 山田忠由	しろがね	Quality of Life ～リハビリを重ね意欲を増す～	奨励賞
2	介護士長	石田喜則	珠藻荘	臭い対策	奨励賞
3	介護士 介護士	島本晴子 大原崇弥	グループホーム 白珠	当施設におけるキャリア段位制度の取り組み～水分補給量に着目して～	優秀賞
4	管理者	若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	集団レクリエーションによる生活のQOLの向上	奨励賞
5	ユニットリーダー 看護師長	西崎弘雅 鈴木あきよ	第二さわらび荘	看取り介護への取り組み 第二さわらび荘での17例の事例について	最優秀賞
6	介護士	荻野みな子	福祉村病院 2病棟2階	リハビリで歩行訓練を行っている患者様の身体機能・認知機能の維持向上への取り組み	優秀賞
7	介護士	柴田洋年	ジュゲム	スピーチロック廃止に向けて	最優秀賞

▼平成28年4月7日 さわらびグループ 第4回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	介護士 生活相談員	小久保雄司 渡邊憲博	さわらび荘	口腔ケアで健康管理～慣れた施設で健康に暮らせるには～	奨励賞
2	介護士	芝原雄一郎	珠藻荘	口で描く夢のある絵	奨励賞
3	管理栄養士	和合倫位	カサ ブランカ	経口摂取維持への取り組み	最優秀賞
4	生活支援員 生活支援員	林　香予子 浦野いず美	あかね荘	免疫力向上への取り組み－1073R-1乳酸菌の期待と効果	奨励賞
5	介護士 生活相談員	後藤崇之 塩見直己	天伯	リスクマネジメントを考える～介護業務日誌の記入漏れをなくせ！～	優秀賞
6	看護師	櫛下町勝郎	福祉村病院	退院支援コア委員会の活動報告	優秀賞
7	看護師 看護師	廣田　瞳 宮脇千鶴子	福祉村病院	認知症による吸啜行為を行う患者様への取り組みについて	最優秀賞
8	理学療法士 臨床心理士	廣瀬正明 金沢歩美	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト「木工」の取り組みについて	奨励賞

▼平成28年10月20日 さわらびグループ 第5回職員研究発表会

No.	職　種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備　考
1	介護士	夏目志朗	ジュゲム	活動意欲は職員から～やってるつもりはやってない～	奨励賞
2	介護士 介護士	大橋美香 城　里奈	福祉村病院	若年性パーキンソン病進行中の患者様の転倒予防への取り組み	奨励賞
3	臨床心理士 臨床心理士	藤井　崇 金沢歩美	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト『紙漉き』の取り組みについて	優秀賞
4	看護師長	八木聖名子	福祉村病院	認知症リハビリプロジェクト『移動喫茶店』における香りがもたらす情緒安定の効果について	最優秀賞
5	管理者	若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	施設で穏やかに過ごして頂く為に	奨励賞
6	介護士 介護士	加藤聡一 鈴木紫歩	若菜荘	知的障害者の豊かな暮らしづくり	優秀賞
7	サービス管理責任者 サービス管理責任者	末松秀章 藤井葉子	明日香	大規模災害に備えて～福祉避難所体験から見えたこと～	最優秀賞
8	介護士 介護支援専門員	三浦悦夫 小久保由紀子	天伯	嚥下障害のある方の食事ケアについて	奨励賞
9	理学療法士 生活支援員	鳥居浩平 住吉　学	しろがね	着衣困難な利用者様への対応	奨励賞
10	介護士 生活相談員補助	奈良田千賀 日和田規子	常盤デイサービス	認知症デイサービスにおけるレクリエーションの効果	奨励賞
11	介護士 看護師	遠山寛之 三ツ井真紀	カサ ブランカ	機能訓練の取り組み	奨励賞